

(第3種郵便物認可)

埼玉新聞スポーツ

2016年(平成28年)2月21日(日曜日)

(16)



昌平 席卷の予感

本庄第一に2-0 2年ぶり2度目V

昌平一本庄第一 後半32分、先制ゴールを導いた昌平の松本(10)が針谷(右から2人目)と抱き合っ喜び(福馬真吾撮影)



県高校新人サッカー決勝

【最良】山口青木町公園陸上競技場。は素早くパスを回し、松本が冷静な流し込んだ。守備要所を崩し、4試合で競り勝つ。2年ぶり度目の栄冠に輝いた。昌平は前半からペースを握ると、0-1の本庄第一は昌平を上回る9本のシュートを放つが、1点も奪えず、初優勝は0の後半32分に松本の低い左クロスが相

攻守で際立つ完成度

攻守で際立つ完成度。を浴びる場面があった。その足踏し込んだ。藤島響 にかかり強かった。最後そんな言葉が昌平の2度目の栄冠。れども勝負どこの回30分も、後半、あまりよくなすきから2点を奪い、力をつた中でも点を取れた。し、ルを翻らせなかった。DFつかかりと力がついてき証見つけた。32分に左サイド、松本の「前線から追い込んで、これ攻撃力。前半は長短のパスを織り交ぜ、らしを差挿ゴールを誘って均衡を破る、し、裏でいたのが幸試、自信に込め、大きな同士の距離感が遠くなり、と、30分には中央の星野が、合無失点の守備力、特後、2年前に県内初タイトル、不用意なパスミスから逆襲、ら佐藤を経由し、松本が右半は、し、チもあつたが、とに輝き、その後の選手権初

【20日】手のオウンゴールを誘い先制。同9分に苦しい時間帯で仕事するあたりは、さすがのひと言、昌平の松本が余角感、縮む大活躍だ。まずは0-0の後半32分、スリッピンを巧みに使った。左サイドで、左足の地を、クロスと上機嫌だった。

16 昌平2年ぶりの栄冠

サッカーの県高校新人大会決勝が行われ、昌平が本庄第一を2-0で退け2年ぶり2度目の栄冠を獲得。後半32分にオウンゴールで先制すると39分には松本が決め突き放した。



▽決勝

昌平 2-0 本庄第一

▽得点者【昌平】OG、松本

▽主審 阿部

▽交代(本) 後28分 横山0

▽40分ハーフ

本庄第一

GK 木藤上谷 02220105

DF 大宮尾三 000000000000

MF 川若山 000000000000

FW 緑石柳 000000000000



らしさ発揮も初優勝逃す

初優勝を逃して2年ぶりの決勝に臨んだ本庄第一は、運動量が落ちた後、2点を失い無念の力負け。大山監督は「失点した場面以外には狙いの展開。個々、チームとして昌平が一枚上手だった」と認めた。立ち上がりから昌平のパスワークに手を焼いたが、ボールに絞込められる激しい守備で苦戦を喫った。後半28分、右サイドで守備に奮闘していた八木代に代えて、山監督、同9分に右サイドで相手をチャンスさせた。大山監督、同9分に右サイドを崩す。松本のクロスに体を張った渡辺がオウンゴール。不運な失点を奪われた。敗戦後、イレブンの目に涙はなかった。北野選手から破竹の勢いで県大会決勝まで駆け上がり、「強豪と渡り合えたことは自信になった」と主将の大山は、「応援してくれた方々のために、この経験を生かしていきたい」と前を向いた。(伊部信甫)

後28分、本庄第一の小林(9)がゴールを狙うがGK横山に阻まれる